

2022度 早稲田大学大学院教育学研究科

高度教職実践専攻入学試験

(一般入試 (後期日程) : 筆記試験 (教職教養))

問題用紙

注意事項

1. 問題冊子および解答用紙は、試験開始の指示があるまで開かないこと。
2. 問題は、2～4ページに記載されている。試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督員に知らせること。
3. 受験番号および氏名は、試験が開始されてから、解答用紙の所定欄に正確に記入すること。なお、解答用紙が複数枚ある場合には、それぞれの所定欄に正確に記入すること。
受験番号は以下の例のとおり、数字で記入すること。

(例) 11001 番 ⇒

万	千	百	十	一
1	1	0	0	1

4. 解答はすべて解答用紙の所定欄にHBの黒鉛筆またはHBのシャープペンシルで記入すること。
5. 試験終了の指示が出たら、すぐに解答を止め、筆記具を置くこと。終了の指示に従わずに解答を続けた場合は、答案の全てを無効とするので注意すること。
6. 試験終了後、問題冊子は持ち帰ること。
7. いかなる場合でも、解答用紙は必ず提出すること。

問1. 次は教育基本法第9条第2項の条文である。空欄(①)～(⑤)に当てはまる適切な語句をそれぞれ解答欄に書きなさい。

前項の教員については、その使命と(①)の重要性にかんがみ、その身分は(②)され、待遇の(③)が期せられるとともに、(④)と(⑤)の充実が図られなければならない。

問2. 次の文章の空欄(①)～(⑤)に入る最も適した語句を解答欄に書きなさい。

- (1) 学校が制度化される以前は、庶民のための私的な教育機関である(①)が、読み・書き・算術を授けていた。また、武士の子弟のための教育機関として、幕府直轄の(②)や諸藩の藩校などがあった。(②)は(③)によって創設された家塾である弘文館が発展したものである。
- (2) 1879年、明治天皇の指示により、侍講(④)が起草したといわれる教育方針(⑤)は、天皇が学校教育に干渉した最初のものとなった。

問3. 次の4つの問いについて、(1)～(3)は、それぞれについて適切なものを選択肢の中から選びその記号を、(4)は、空欄(a)、(b)に当てはまる適切な語句を、それぞれの解答欄に書きなさい。

- (1) 学校の運営や管理について示した次のア～エの文章のうち、適切なものを選びその記号を書きなさい。
 - ア. 小・中・高校は、教育活動やその他の学校運営の状況について、自己評価を行い、その結果を公表しなければならない。
 - イ. 学校教育法施行規則では、校長が主宰する職員会議において、学校運営に関する議決をすることが明示されている。
 - ウ. 学校評議員は、校長の推薦により学校設置者から委嘱され、学校運営の基本方針の策定にかかわる。
 - エ. 学校運営の合理化を図るために、校長、教頭、主幹教諭、学年主任、生徒指導主事、研究主任、主事等で構成される企画委員会が必置となっている。
- (2) 評価について述べた次のア～エの文章のうち、不適切なものを選びその記号を書きなさい。
 - ア. 教師の意図的で計画的な授業とそれに基づく「行動目標」に沿った評価を目指す方法は、評価の「羅生門的アプローチ」といわれる。
 - イ. ルーブリックとは、成功の度合いを示す数段階の尺度と、尺度に示された評点に対応するパフォーマンスの特徴を示した記述語から構成される評価基準表を指す。
 - ウ. パフォーマンス評価とは、リアルな文脈の中で、様々な知識やスキルを応用・総合して実施するプレゼンテーションなどを評価することである。
 - エ. ポートフォリオとは、児童・生徒の学習記録や自己評価の記録、教師の指導・評価の記録を系統的に蓄積したものを指す。

(3) 学校保健安全法について述べた以下のア～エの文章のうち、適切なものを選びその記号を書きなさい。

- ア. この法律は、学校における児童・生徒の保健管理や安全の確保を図ることを目的としており、教職員については別途定められている。
- イ. 校長は、感染症の予防上、必要があるときは、臨時に学校を休業にすることができる。
- ウ. 危険等発生時に児童生徒がとるべき行動について、学校では「危険等発生時対処要領」を作成することになっている。
- エ. 児童・生徒の健康診断、健康相談、保健指導、救急処置その他の保健に関する措置を行うため、学校には保健室を設けることが定められている。

(4) 以下の文章は、日本国憲法の第 11 条と第 14 条の一部を抜き出したものである。空欄 (a)、(b) に当てはまる適切な語句を、それぞれの解答欄に書きなさい。

- ① この憲法が国民に保障する (a) は、侵すことのできない永久の権利として、現在および将来の国民に与えられる。
- ② すべて国民は、法の下に平等であって、人種、信条、性別、(b) 又は門地により政治的、経済的又は社会的関係において、差別されない。

問 4. 次の 3 つの問いについて、それぞれに当てはまる記号を解答欄に書きなさい。

(1) ピアジェは、認知発達に段階を追って進み、その順序は文化や学習経験にかかわらず、どの子どもでも同じであると主張し、対象の認知の仕方がどのように変わっていくかに注目して、知的発達の 4 段階説を示した。その順序として正しいものは、以下のうちのどれか。

- 1. 感覚と運動を協応 (2 つの行為を調整する状態) させて対象を認識できるようになる。この時期は、生得的な反射を土台として、感覚器官とそれに伴う動作によって、対象を認識する。
- 2. 言語や記号による抽象的思考ができる。具体的対象の操作から離れて、言語や記号などによる命題を使って思考できるようになる。
- 3. 目の前の具体物に対し操作的思考ができる。知覚したものに影響されずに、可逆性をもつ変換をあたまで行えるようになる。脱中心化により、見かけに左右されない具体的かつ論理的な思考ができるようになる。
- 4. 行為が内面化し、ごっこ遊びなどの象徴的行動が生じる。ことばを使用できるが、その思考は自己中心的である。この時期は、目の前にない出来事や事物について記憶し、思考することができるようになる。

- ア. 1 3 4 2
- イ. 1 4 3 2
- ウ. 2 1 4 3
- エ. 3 4 2 1
- オ. 4 2 3 1

(2) 「知能には、全ての知的活動共通に作用する知能因子 (一般因子) と、個々の知的活動に固有に考えられる知能因子 (特殊因子) が存在する」この考え方を提唱した人は誰か。

- ア. キャッテル (Cattell, R. B.)
- イ. ギルフォード (Guilford, J. P.)
- ウ. スピアマン (Spearman, C. E.)

- エ. サーストン (Thurstone, L. L.)
- オ. ウェクスラー (Wechsler, D.)

(3) 自己効力感を規定する要因として、誤っているものはどれか。

- ア. 他の人が何かを達成したり成功したりすることを観察する、代理経験
- イ. 自分自身が何かを達成したり、成功したりした、達成経験
- ウ. 自分の身体の状態を知った上で、良好に保つ、情動的喚起
- エ. 自分には能力があると、他の人から言葉で励まされる、言語的説得
- オ. 課題が面白い、なぜかを知りたいといった、内発的動機

問5. 以下の(A)～(D)のそれぞれの領域について、いずれかの語句を選び、その説明を解答欄に書きなさい。なお、解答用紙の該当欄に、選んだ語句をそれぞれ記入すること。

領域 (A) (教育原理)

- 評定
- 未来の教室

領域 (B) (日本教育史)

- 教育勅語
- 芦田恵之助

領域 (C) (教育法規)

- 教科書の使用義務
- 校務分掌

領域 (D) (教育心理)

- 中央値
- 接近・回避動機づけ

2022年度 早稲田大学大学院教育学研究科高度教職実践専攻入学試験
 (一般入試 (後期日程) : 筆記試験 (教職教養) 解答用紙)

受験番号					
氏名					

採点欄

この右の枠内には、何も書き込まないでください。

問1	①	②	③	④	⑤	<input type="text"/>
問2	①	②	③	④	⑤	<input type="text"/>
問3	(1)	(2)	(3)	(4) a	(4) b	<input type="text"/>
問4	(1)	(2)	(3)			<input type="text"/>

問5	
領域 (A) 選択語句名	
説明	
	<input type="text"/>

領域 (B) 選択語句名	
説明	
	<input type="text"/>

領域 (C) 選択語句名	
説明	
	<input type="text"/>

領域 (D) 選択語句名	
説明	
	<input type="text"/>